京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十四年紀元二千五百七十一年 本紙一枚金二錢 一ケ月前金三十錢 三ケ月前金九十錢 六ケ月前金一圓八十錢 郵税一ケ月十五錢 定價
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料 五號活字十七字詰一行金五十錢 特號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久太郎 印刷人 松久辯一郎
發行所 京城西小門通 京城新報社 電話六六〇番
仁川支局 仁川宮町三丁目 電話二一一番

半島の通信事業

通信局當局者談片

半島に於ける帝國の通信事業は其淵源遠く、随つて動亂の歴史を顧みれば通信事業は常に多數の犠牲を拂ふの悲歴がある、而して其漸く基礎を固ふするに到れるは日清戰爭後であつて日露戰爭に依て益々牢乎不可抜のものとなつたのである▲然ば最近の成績如何かと云ふに郵便線路は二千四百二十三里、電信の線條三千百六十三里餘の延長を示めし預金計算に於ては本年度より歳出を償ふ丈けの歳入を得るに到つた、現に角以上の現勢は之を十年前の状況に較ぶれば實に隔世の感あるが、翻つて其將來を見るに尚大に施設を爲さねばならぬ、故に臨時部所要の經費を償ひ得るまでには今後十年餘の歳月を假さねばなるまい▲併合以前は郵算は遞信省に屬し官制は統監府の下に在りて兩頭支配の奇觀を極めて居つた、此間に於ける支吾扞格は實際的施設の上に幾多の困難を見たが、幸に本年度より全然遞信省の手を離れ總督府の特別會計に移つたから今後は大に爲易い譯だ▲元來通信事業は骨の折れる割に一向世間の注意を惹かない思ふに此事業の發達程度は一國文野の標準を定むるに足る位なるに如斯は當局者として大に遺憾の至りに耐へない例へば一般官廳に於て政變節減等の大鞭撻ある場合には實際上其餘地なきに必ず共に犠牲へを喰ふ、即ち官業の性質として經費は可成消極的に計上し以て收支の權衡を保たしめて在るに拘はらず往々此厄難を見るのだから耐へたものじやない▲又一般公衆の便を計り通信事務に關して訴ふべき點あれば遠慮なく申告する樣其道を開いてあるに不拘之を利用するものは九牛の一毛も無い、其締盟では種々勝手の熱を吹いて居る、是れ日本人の常であつて洵に善からぬ事だ、西洋では決して斯んな事はない、公々然と申告し來り男らしく不平を訴に出づる、吾が日本人も彼が如き女々しき態度を罷めて貰いたいものだ▲モ一ツ西洋の例を引くと遞信官署は晝夜間斷なく忙殺されて居る、此點に顧み從業者に對する娯樂機關は遺憾なく設備されてある、然るに吾國は帝都の模範官署すら尚は之を閑却して居るじやないが、是は吾々當局者の毎に遺憾に思ふ處である。

總督政治と世論（二）

政友會の機關新聞として有力なる關西日日新聞は四月十三日發行の同紙上に「朝鮮總督の不評判」と題せる社說を掲ぐ其要點を左に摘載せり

（前略）唯夫れ子爵が我の輿論批評を恐るゝこと虎の如く、手段百端して其機關を自巳の藥籠中に收めずんば必ず之を撲滅し去り、朝鮮に關する事情は一切之を内地人に隱秘して檢閲足せんとするが如きは、吾人は軍人として寺内子の行動の甚だ卑怯に類するを惜むものなり、子爵の朝鮮に總督たるや、自巳の私事を行はんとするにあらずして邊疆を鞏固にして帝國の安寧、東洋平和に資するに在るは、子爵の固より牢記して遺忘すべからざる所、既に斯識に判し將た帝國の人民に對し、還般の責任ある以上は、其所信を公表して堂々と之を輿論に訴ね、以つて其當否を公正の判斷に待つは是れ軍人として宜しく執るべき手段にして、必ずしも獨り立憲政治家の態度なりとのみ云はんや且つ夫れ身要據の位置に在りて、專ら任地に留るを得ざる多忙の身に在りては、自から其見聞を他の力に假らざるを得ずして、一種官局的觀察より成れる官局的報道のみに依頼するが如きは決して朝鮮の實狀を解し其相を知る所以にあらず。（中略）反對の言論機關なるものは或る意味より云へば、自巳の信用を國民に繼ぐに利便なる機關に外ならざるなり。然るに之を是れ察せず善惡共に之を秘し、正邪共に之を隱して朝鮮全体を國民の耳目より覆はんとする子爵の所爲は、國民をして益す疑惑猜疑せしむる所以にして、吾人は甚だ其臆病なる專制政治家たるを笑はずんばあらず、頃日子爵は二三の新聞紙と朝鮮の治略の上に就て戰端を開始し、或は其輸入を禁示し、或は其發行を停止しつゝあり、而かして世人は子爵が既に批評の矢面に立つ能はざるを見て膽敗の數の明かなるを暗算しつゝあるなり。

速達郵便の利用法

五月一日より改正の速達郵便は之れが利用方次第で非常に經濟的且無限に利便なるものにして其の實際に起るべき必要の場合を例示すれば左の如し

一、他人を訪問せんとするに、豫め急速通報して置きたき場合（二）訪問先の相手の在不在又は差支の有無を聞き度場合（三）訪問會合同行其の他の豫約を俄かに取消し又變更せんとする場合（四）買物又は貰物の急速送達を要する場合（五）忘れ物の急速取寄せを要する場合（六）供用品の急速返却又は送付を要する場合（七）途中より不用の携帯品を自宅其の他必要の場所に正確迅速に送達せんとする場合（八）急に合鍵の必要に迫り自宅其の他より取寄せんとする場合（九）外出先にて自宅より衣類其の他の必要品を取寄せんとする場合（十）急用の爲め他人を必要の場所に招かんとする場合（十一）吉凶慶弔の急速通報を要する場合（十二）吉凶慶弔の贈答品を他人に目立たず且正確迅速に送達せんとする場合（十三）病院藥店等より藥を取寄せんとする場合（十四）滊車旅行其の他俄かに出發に際し知友等に速報を要する場合（十五）宴會其の他集合の席に參集方督促を要する場合（十六）役所とか會社其他の出先で雨に降られ急に傘の取寄せを要すると云ふ如き場合（十七）朝の出掛けに辨當が間に合はなかつたが使者もないが追送したいと云ふ場合（十八）急に返事を聞きたい而かも返事の便宜なり郵便料を先方に出させるも氣の毒なと云ふ場合（十九）自分の居所迄郵便を取りに來て貰ひ度場合（二十）滊車郵便の發出間際に郵便函に入れては間に合はぬ郵便を局又は列車郵便室迄送付し度き場合

其の他表示すれば際限なきも要するに傭入其の他臨時の使では第一時間がかゝる賃錢も安くない上に幾分不信用な場合もあれば又電話で話しもならず用が足りぬと云ふ場合に對する理想的便法なれば之を一般に周知すると共に官公署、會社たると商店其の他とを問はず利用者の益々增加すべきこと疑なかるべし

召使れ初

第四十六回　黒法師

徳右衛門の詞の底には、稀き鑛の影閃きぬ、お蓮は此時も尚は無言なりき

「お蓮、お蓮」と佐十郎は又呼んで「此ほど民ふよをそなた聞き入れては吳れぬおやな、現在兄が武士の一分廢るを見ながら、救ひの手を拂けてたもらぬおやな、此大恩死ぬるまで忘れぬ、徳右衛門せのへ執成頼む、そなたの一言の保護あらば、宥し難いを宥すとの口上あるではないか」

「これよ、默つて居ては分らぬによ、實か僞か、有樣を云はぬかよ」と徳右衛門は優しげに、先刻から事を分けていふ、これが此方に解らぬおやな」

お蓮は此處に不甲斐なき兄を見殺して、此人少しも存せぬでござります」と心強く云はんとせしが、兄上御一分は什麼にもあれ、年來の御不孝、お父樣お母樣御心配の御模樣、斯樣な者はあつて詮無い、末代子とは思はぬとの御憐みも聞いてある、此處に兄妹名乘り合はゞ兄上御恥辱のみにはあらじ、我身我家の恥辱のみにはあらじ、お父樣御恥辱、御先祖御代々御恥辱、目前兄上を盜賊の罪に陷し參らするも忍びねど、お父樣御名には替ゐられじ、家の名には替ゐられじ、一言の詞閉へにて助くれば助けらるべきを爾所に爲べきか、と強く鋭き心も動き、徳右衛門の「什麼、什麼」と問ひ詰める詞に對して「兄上ではござりませぬ什麼樣とも御存分になせられ」と明白に答へんかとも思ひしが、斯くてはお父樣お嘆き、お父樣はさのみならずとも、お母樣は御女儀、お嘆かせの餘りには、きと我身をも恨ませらう、只一人の男子を泥の中へ突き落せし、お蓮惜くお思召さう、これも不孝、これも不義か、と心の中に鬼つ追ひつする。

「お蓮、什麼を其樣に考ねあるかの、先刻から尋ねる返答は何うあるの」と徳右衛門は身を寄せて「そなた爲めにあらば、此曲者許うはせぬ、兄ならば兄、でなくばないと、判然と云ふてたもらぬか喃」

お蓮の顏には潮の色さつとさす、びりりと動く唇の間より

「私、兄上に相違ござりませぬ」とさも苦げに云ひ終る。

「おゝそう、なた兄御……やはり眞實の兄御前あつたか喃、さうとは知らず先刻から其う責め問ふた、堪せくゝ」とお蓮に詫びる如く云ひつゝ「そなた兄と知つた上は會所などへ突き出さぬ、盜賊の疑ひもさらりと晴れ、客人同樣にして歸し遣せる、おやが喃、この情を忘れることは致すまいの」

「お恥し下さる……」この大恩何時までも忘却致さぬと、佐十郎は嬉しげに云ふ。

「いやゝお身に云ふではない」と徳右衛門は此方を向いて「喃、お蓮、下世話にも、魚心あれば水心とは此事、私の情、忘れる事あるまいの」

お蓮は沈と塗顔れぬ。

「どうぢやの、この返答次第に由つて兄御を盜賊まで送り遣せうがの」と徳右衛門は眼を細く、聲を優しくして「私の心中、些は分りあつたか喃」

短を諾ゆる、牡丹の香、脉々と鼻を撲ち來。

京城新報

半島の經營は露西亞式

……添田博士に贈る……

過る十五日朝鮮經濟協會は日本興業銀行總裁添田博士の歡迎を兼ね例會を開く席上添田博士の講演ありたるは前號所報の如し而して博士は講演を了りたる後ち列席會員一同に向かつて土產話を請求せらる、本篇は乃ち右博士の請求に應じ東京への土產話として述べられたるものなり　峰岸生述

只今は來賓添田博士より有益にして且つ興味ある御講演を拜聽致し何とも難有謹むで御禮を申上げます、實は自分は博士より直接の御薰陶は受けませんが、今より十數年前始めて博士の著書を繙き、當時中博士が英國人の所得稅を陰蔽せずして、進んで上納するの風あるは、全く基督敎の感化に因るものなりと、論斷せられたるを見て、博士が社會の事物に精通せる活ける經濟學者たる財政家たるを信じ、爾來博士の著書及論文等を常に愛讀し、間接の御薰陶を受けんことに勉めつゝあるものであります、只今の御講演中博士が半島に於ける基督敎の傳道に關し特に一言せられたるが如きも博士の御觀察が普通一般の觀察者等と撰を異にせるの證據にして、半島經濟と基督敎傳道とが深き關係を有することを看取せらるゝ博士は僅かに凡庸經濟學者等の注意せざるところを深く洞見せられたるものであります。

夫れは扨置き博士は御講演の始め殖民地經營に於てスペイン式ロシヤ式佛蘭西式があると云ふことを仰せられました、亦朝鮮の田舍を見ると大なる建築物は官衙官舍等のみにて斯は恰もロシヤの村落に於て大なる建築物は寺院官衙官舍等のみなるが如しと仰せられました、思ふに博士の此御觀察は眞實であつて自分をして云しむれば半島のロシヤ式なるとは只に田舍のみならず茲都會京城も同樣であるのであります。博士も已に御實見になりたらんが、自分が最初京城に來たのは六ケ年以前であつて、其始め南山に登つて市中を見渡しますと建築物の極少にして粗末なるに驚ひたのであります、而して六年後の今日に於て同一市中を見渡しますと種々立派な堂々たる建築物が出來まして市街の體裁は餘程美しくなりました、併し綴つて調べて見ると之等堂々たる建築物と云ふのは博士がロシヤに於て見られたるが如く何れも官衙官舍、若しくは保護銀行特許會社等の建築物であります、而して人民側の建築物はと云へば六年以前と餘り變りはなく、サウ京城の市街は官衙官舍、保護特許會社の建物等で立派になつたのであります、京城の市街がドノ位立派にさへなれば宜しと云へば云へ、帝國の半島經營が全然ロシヤ式であつて官衙官舍、保護特許會社のみ膨脹して人民側が發展せぬのは憂ふべき現象であります、併し事實は事實であつて決して誣ゆるのではありません、半島の經營がロシヤ式である以上は總ての仕事が不生產的に爲されて國家は無けなしの金を浪費し莫大の費を擧げ得られずして止むと云ふことになるのであります。博士の御言葉に因ると今や內地は資本潤澤にして半島に相當の事業さへあれば資本は幾らにても流入し來るべしと、所は半島にとつて好箇音であります、併し茲に當て外國の資本家と內地の資本家との間にも一ツの堤があつて內地への資本の流入を妨害したるが如く、內地の資本家と半島との間にも一ツの堤があつて居ります、思ふに此の障害物たる堤にして撤廢せられぬ以上は、如何に內地の資本が潤澤でも此方へは決して流入して來ぬと思はれます、自分の言ふを俟たず近世の意義に於ける領土の擴張とは經濟區域の擴張と云ふことであります、されはこそ、米國が布哇を併せて、フリピン群島を併せて、直に着手したるは之等新領土へ本國資本の流入、言を換ゆれば新企業であります、而るに我半島は如何と云ふに併合後間もなく諸種の新企業があるべき際に於て會社令なるものが發布實施されたのであります、會社令の善惡、斯は政治的言論を禁じてある當經濟協會の席上では申述ぶることは出來ません、併しドウ云ふ譯か同令發布後已に半年にも垂んとする今日までに同令に因つて出願された新會社はタッタ一ツの大倉印刷會社であります、聞く內地にては澁澤男爵を始め多數の有力なる實業家が會社令に反對を唱へて居られるとのことであります、亦在半島內地人も朝鮮人も外國人も皆一樣に澁澤男爵等と見を同ふして同令に反對を唱へて居ります、自分は總督の會社令發布は善意に出たるものと信じます、併し一般人民は會社令發布の眞意を知ることが出來ず、殆んど申合せた樣に反對して居ります、斯くの如くなれば會社令は今日に於ては事實上企業撲滅令と受取られて居るので其結果併合に因つて折角擴張されたる經濟區域は會社令に因つて收縮されて居ると云ふ始末であります。朝鮮事業公債之は自分等の畫策したる如く、政府は一般事業の方法をとらずして韓國の紙幣增殖に因つて間に合せんとして居る樣であります、扨此間に合せが果して良いか惡いかと云へばソレは惡い事は慥であります、何となれば他の事は措き、洋不換紙幣增發の結果は通貨の膨脹となり、物價の騰貴を來たし、延ては總督府の歲出にも無慮味の增加を來すからであります、尤も之に就て詳數申せば餘り長くなりますから、茲には省きます、只氣の毒なるは官吏諸君であつて諸君はキマッた俸給に衣食するものなるが故に物價が二割方騰貴するとすれば必ずや二割方減俸せられたと云ふ事になる、故に官吏諸君は第一に同盟して事業公債に關する間に合せ主義に反對すべき筈だが、之れをせられぬのはドウ云ふ譯か一向自分には判らぬのであります、尤も二割方減つても全で取らぬよりはましだと思はれて居るならば夫れは別問題であります。

終りに臨み博士に申上げて置きたいのは併合後清國人の數が著しく減少した事であります、目下も尙減少しつゝある事であります。之を事實に徵するに博士も御承知の如く清國人は世界到るところに生息して繁榮する民族であります。曰く南北米、濠州南洋諸島、アフリカ、ジャワ、シャム、布哇、何れの所に於ても排斥を受けながら尙立派に生存を續けて居る民族であります、而るに彼等は獨り朝鮮半島に於てはモハヤ生存が六ケ敷なつたのであります、博士も御承知の如く世界の各種民族中勤勉と儉約との點に於ては淸國人に超す者はないのであります、併今日の朝鮮は勤勉と儉約なる淸國人、言を換ゆれば勤勉と儉約なる人間には生存が六ケ敷なつて來たのであります、否な勤勉儉約だけでは人間が此地に生存出來なくなつて來たのであります。保護、特許、之れが無ければ個人も會社も銀行も勤勉と儉約だけでは此地に生存が出來ない樣になつたのであります、其好例は博士御關係の興業銀行が當地から支店を引揚られたのでも知ることが出來るのであります、嗚呼勤勉にして儉約なる淸國人、彼等は政府の援助を受けず、金融機關を有せず、而かも世界何れの國へ行つても立派に生存を續けるのであります、而るに朝鮮からは此勤勉にして儉約なる淸國人が逃げ出すのであります、之を以て見ると我半島は世界中に例のない特殊の地で勤勉にして儉約なるだけの個人は仆れ政府の保護補助特許を有する者等が榮へる土地となつた次第であります、博士は露國にロシヤ式、スペイン式、植民地と云ふ事を仰せられましたが、我半島經營は現にロシヤ式スペイン式に傾きつゝあるのであります、ドウカ此事を御歸京の上は會社令に反對さるゝ澁澤男爵其他へ御傳へを願ひたいのであります。

東京電報（十七日）

▲**妃殿下御容体** 宮妃殿下昨夜より今日迄御熱三十九度脈搏百十前後にて併發の氣管枝加答兒は御經過宜しきも未だ全く御安心申上げられずと侍醫は語れり

▲**司法省官制改正** 勅令第百五號を以て司法省官制改正され民事局刑事局、監獄局の三局を置き公布の日より施行する旨昨日官報にて發布されたり

▲**桂首相の訓示** 十七日召集せられたる地方長官會議の席上に於ける桂首相の訓示演說の大要如左

諸君本日本大臣は茲に所信の大要を陳述する機會を得たるを欣幸とす諸君帝國と諸外國との交際は益々親密にして條約改正事業の如きも米國との條約は既に公布せられ英國との條約は既に調印を了し其他列國との交涉も亦漸次其步武を進めむ而して其實施に至りては國民をして此新條約の効果を享受せしむるに付諸君の努力に待つもの決して鮮少ならざるべきを信ず

諸君本年紀元節の當日優渥なる勅語を本大臣に賜はりたり抑も一國の隆顯は其源文敎の與否產業の興廢に發するや固より論なく本大臣等は深く聖旨を奉戴し孜々として最上の道を講ずるに怠らず諸君の如き直接國民指導の職に非ざる亦厚く意を健全なる思想の維持と國民の發達とに用ひ苟も聖明の仁慈なる內帑を割かせられ施藥救療の資を下賜せられたるに付本大臣等は無告の窮民をして凡く聖恩に浴せしむる道を講ずるの其方法は將に成るに近からんとす其實行に際しては實に諸君の奮勵に待つもの甚だ多大なるものあるべし諸君よく此意を諒せられんことを望む（下略）

▲**谷子爵薨去** 谷子爵は藥石効なく十五日朝遂に薨去せらる

▲**谷子爵の光榮** 谷子爵病氣危篤の趣天聽に達するや左の通り特旨を以て陞敍の御沙汰ありたり

陸軍中將從二位勳一等子爵　谷干城
敍正二位

▲**山桂二氏密談** 山縣公は十五日桂首相を其の官邸に訪ひ何事か密談數刻に及びたるが會談の內容は固より秘密にして知るを得ざるも其重要事件の外は維新史料編纂並に施藥救療御下賜金の處分に關して打合する處ありたりと

▲**遣英艦の消息** 遣英艦隊利根、鞍馬の二艦は豫定の如く十四日午後新嘉坡に安着の旨海軍省に公電あり

▲**松方公使退官** 特命全權公使松方正作氏は依願免官せられり

▲**民刑事兩局** 本日司法省官制改正發表と同時に左の如く局長の任命ありたり

檢事法學博士　平沼騏一郎
專任司法省刑事局長敍高等官二等
司法省參事官法學博士　文川藤十一郎
任民事局長敍高等官二等兼檢事

雜錄

●**土地收用令發布** 十七日總督府制令第三號を以て土地收用令發布されたり條文は次號に揭載す

●**道路規則の制定** 十七日府令第五十一號を以て道路規則及道路修築標準等制定發布されたり其槪要によれば道路を一等二等三等及等外に區別し一等は幅員四間以上二等は三間以上三等は二間以上とし三等以下の道路は道長官之を決定して總督の認可を得るものとし各重要なる道路は殆んど一、二等に指定されたり

●**交通機關整備訓示** 別項記載の如く交通機關整備の規定公布と同時に總督の名義を以て警務總監部、道、府、郡に對し今回着手すべき政府の施設は第一期事業にして主として重要なる道路の修築を先にするのもなれば各官廳に於ては其事情に應じて道路の修築、維持又は餘造等凡べて交通機關の整備を期すべき旨訓示せり

●**金融緩慢に就て**　添田博士講演の一節

朝鮮經濟協會の招請に依り添田博士は母國と殖民地との關係に就き得意の經濟的見地より一場の講演を試みられたる事前號所報の如し而して該講演中本問題に論及し目下の金融緩慢に就て斷案を下せる一節を摘錄せんに曰く

▲**一朝一夕に非ず** 日本に於ては二三年來稀有の金融緩慢に苦しみつゝあり而して係かる現象を誘致せる所以如何かを攻究するに決して一朝一夕の事に非ざる也則ち日露戰役の爲めに政府の消費力非常に增進し之に基く資金の散布せられしもの夥しく遂に戰後の經濟界を膨脹せしめ各種の事業會社盛んに續出せり然るに其多くは一時的の事業熱に浮されて勃興せるものにして謂はゞ實際の必要に伴はざる泡沫會社のみなりし爲め忽ち事業心の沮喪となりて資金の停滯を來せるに加ゆるに一方に在ては政府公債の大償還あり其結果金融上益々需要供給の權衡を失せるに依る世間に處せる各銀行業者の困難は洵に名狀すべからざるものなりしが一般は金利低落の幸福を享有し吾國經濟上洵に慶賀すべき進步を見るに到れり此現象は寧ろ當業者に取りては甚だ迷惑とする處なれども一般の經濟界と言へる點に顧み決して反對する能はざる由

▲**今後の注意肝要** 尙ほ一原因と認むべきは以上戰時に於ける物品の消費力著しく昂進せるが平和の克復と共に漸次平靜に歸し又經濟上の需要なきに到れるもの是なり元來吾邦は經濟上に於ける新興國なるに斯く金融緩慢の現象を呈せるは洵に喜ぶべき事に屬せずんばあらず何となれば一時の消費力昂進は奢侈的消費に依るに非ずして全く實際上の必要に因するものなれば也則ち此緩慢は畢竟資金の潤澤に基く當然の成行と謂ふを得べし思ふに經濟上の妙味は茲に存する故に將來若し資本の需要を起し其散布に依りて多數の人に落ち去る事ありとするも之が爲めに急激なる變化若くは動搖を來たさしめず極めて有益に使用せる事最も必要なり若夫れ現下の經濟界に就て悲觀樂觀の兩說あるが如きも決して爾かく簡單に觀察すべからず寧ろ予を以て之を見れば悲觀或は樂觀等の無意義なるを知るのみ也

●**增設金融組合** 本年度增設の金融組合は三十箇處にして其所要資金は現に帝國議會の協贊を得て總督府豫算に計上し在り而して其設置個處に就ては勿論既に內定し居れるが未だ公表の運びに到らざる由然れども大體に於ては各道に亘りて其缺を補ひ且つ緩急に鑑み設置し行く筈なりと

●**舊韓國の金貨** 韓國銀行の正貨準備に屬せる舊韓國金貨百九十四萬三千二百五十圓は三月末貨幣整理會計の引繼の際全部日本銀行へ引渡したり其結果同行に於て何等か處分あるべき筈なりと云ふ

●**京城民團豫算認可** 兼て認可稟請中なる京城民團四十四年度豫算は十七日を以て認可となれり尙ほ既報の稅則改正の件は未だ何等の指令なければ同附帶案件の手數料改正其他は十四日附にて認可されたり

●**會議所豫算會** 十六日午後六時より京城日本人商業會議所にて本年度豫算委員會を開き詳細なる審議を遂げたるが愈々十八日午後三時より開會すべき本會議に提出さるべしと

申請書由に迷ふ　……商議資格の爲め……

在朝鮮內地人商業會議所資格問題は年來の懸案にして屢々其議に上り居りしが今又京城商業會議所より直接總督府に提出したる改正定款の認可申請に就き取扱上の疑問起り居れり今其疑問とする處を聞くに朝鮮に於ける商業會議所の組織に就ては元來法令の據るべきものなく謂はゞ純然たる私立團體たるに過ぎざるも扨て實際上今日までの經過に顧みれば其成立に就ては警察又は理事官より認可を與へ來り且つ現に經濟上の重要事項に關して隨時諮問を下したる實例等も在り旁々正面より之を見れば何等認むべき資格なきが如きも一方如上の實例を以て之を論ずれば强ちに其存在を否認せるものたるや疑ふ可からず其結果該申請に接せる當局者中二樣の見解を生ずるに到り則ち一は法令の存在なきを理由として總督に於て認可を與ゆべき限りに在らずと唱へ一は歷史的事實に重きを置き不文法の下に立てる組織なりと稱し既に過去の認可を以て效力ありとすれば今日と雖も爾かく取扱はざる可からずと言ふに在るが如し結局會議所資格問題は早晚何等か決定を爲さゞれば種々不都合を見るべしと云ふ

●**議案審議會** 十七日午後六時當會議所樓上に於て朝鮮各會議所聯合會及日鮮大聯合會に提出すべき議案審議委員會を開く筈

●**鮮米斤量別と聯合會** 朝鮮米及び朝鮮輸出穀實取引標準を斤量制に改正せんとする議が大阪朝鮮貿易商同業組合及び神戶の朝鮮米商組合の懸案となりをる事は豫て本紙にて報道せし所なるが右は兩者の協議纏り大阪商業會議所にては近々當地にて開かるる全鮮商業聯合大會の議に附する筈

●**漢城銀行の現況** 增資後の漢城銀行は度支部當局の嚴重なる監督に依り極めて平穩に進捗しつゝある由にて預金の如きも著しき增加を示め寧ろ其多きに苦み居れりと又貸付も確實なる方面には相當投下し居れる一方彼の韓國銀行に保護預けとせる恩賜公債の如きも斯かる現況に在る爲め未だ手を付け居らざる由

●**ペストと解禁** ペスト豫防のため從來古着、襤褸、古綿等の清國より輸入移受等を禁止され居りしも去る四月十五日より最早其必要なしと認められ解禁されたり

●**三月中の仁川金融** 去三月中に於ける仁川三銀行の統計を記せば諸手形取扱に於て仕向高一、一二八、九八四圓被仕向高一、二五一、三八二圓にして預金高は三、三七二、〇三八圓預金拂戾高三、三三七、八八八圓にして月末現在預金額百五十九萬二千六百七十九圓

●**添田總裁歸東** 滯京中なりし興業銀行總裁添田壽一氏は十六日午前南大門發列車にて歸京の途に就けり

●**山根院長歸任** 久しく東上中なりし山根衞生院長は此程歸任したり

●**岡崎告天子の觀察** 朝日新聞京城特派員の同氏は十五日朝南大門驛發列車にて馬山、鎭海灣、大邱方面に出張せり往復約一週間の豫定

●**靑木書記官の歸期** 北鮮地方へ出張中なりし山林課の靑木書記官は十九日歸任すべしと云ふ

●**高陽見學團參觀** 高陽見學團五十餘名は十七日醫院庶務課長の案內にて病室並に炊事場機關室を參觀し朝鮮人醫員の說明を聞き醫學講堂に於て喫茶中人體の組織を實物に就き詳細なる說明を與へ且つ二三の理化學試驗を實見せしめられたり就中飮料水の試驗幷に黴菌の實驗等には頗る快感を與へたる模樣にて文學の進步に驚嘆せりと

●**[illegible]觀察團退京** 大邱[illegible]觀察團一行當業家二十九名は去十四日入京景福宮、パコダ公園、昌德宮、東亞煙草工場等を觀察し十六日朝水原發列車にて歸途せり

●**韓銀貨幣發行高** 四月九日より十五日に至る韓銀券發行高左の如し

銀行券總發行平均高　二一、〇一二、五〇〇
內
正貨準備發行平均高　七、七一七、〇五七
保證準備發行平均高　一三、二九五、四四三

公人私人

▲武田秀雄（海軍少將）　十五日入京天眞樓
▲水谷千万吉（海軍大佐）　同上浦尾へ
▲志賀良助（釜山郵便局長）　十六日入京浦尾へ
▲八木辰馬（平壤郵便局長）　岡山本へ
▲吉田通代治（步兵中尉）　同山口屋へ
▲坂上貞信（群山民長）　十七日仁川へ

▲**京城手形交換高**▼

四月	金高	枚數
十七日	五一一、八二〇二	二九〇

▲**京釜兩驛の貨客**▼

▲南大門驛乘降客　十六日の分　乘車客 七三四　下車客 八一六　乘車賃金 一、四七八、三一
▲南大門驛荷扱高　十六日の分　發送 三八噸　到着 四七一噸　貨物賃金 四一二、一二八
▲龍山驛乘降客　十六日の分　乘車客 二八九　下車客 二七七　乘車賃金 二三五、七九
▲龍山驛荷扱高　十六日の分　發送 六噸　到着 一二一噸　貨物賃金 一五、一〇

▲**仁川港の出入船舶**▼

▲第二永田丸　十八日釜山より入港
▲大有丸　同　大阪より入港
▲信濃川丸　同　大阪より入港
▲諏訪丸　同　大阪より入港
▲吾妻丸　同　橫濱へ向出港
▲信濃川丸　同　大阪へ向出港
▲大有丸　同　大阪へ向出港
▲[illegible]丸　同　安東縣へ向出港

●**仁川民長の入京** 岩崎仁川民長は十七日午前京城に來り要支部を訪

▲**相場電報**（十七日）　明治町西村支店着電

▲京城同	五八、六〇〇	五八、一〇〇
▲電鐵同	五八、二〇〇	五八、一〇〇
▲大阪同	六四、六〇〇	六四、五〇〇
▲紡績同	六四、五〇〇	六四、五〇〇

▲大阪同	一二六、八〇〇	一二六、四〇〇
▲株式同	一二六、九〇〇	一二五、九〇〇
▲同直同	一二八、五〇〇	一二七、七〇〇
▲[illegible]同	[illegible]	[illegible]

四月寄十六圓八十五錢▲止不明▲五月寄八十二錢▲止不明▲六月寄九十八錢▲十七圓五錢

十一圓九十七錢▲最高同上▲最低九十三錢止九十五錢

●十七日前場四五月出來不申▲六月寄

米國の偉人

比律賓の蠻民を指導す

フヰンレー氏（上）

△慓悍なるモロ人　昨年の夏米國陸軍卿ヂッキンソン氏が比律賓群島中ミダナオ市に赴き、島中唯一の都會と謂はるゝザムボアンガ府に入るや、二百名の熱心なるモロ人が、氏の前に出でて若し比律賓人の獨立を許可すればミンナオ島を、米國の領土となすべきことを請願したることは少なからず氏の注意する所となつた、此モロ人とは如何なる種族ぞ、一雜誌は解して曰く『比律賓人は到底勇敢なるモロ人を統御する能はず、モロ人は皆回教徒にして基督教徒を疾むを仇敵の如く、從つて米國に領有せらるゝことを請願したるは、彼等の誠意にあらず』と此雜誌記者の觀察は恐らく誤謬であるまいが、一度モロ人の部落に入り茅屋の上に片々たる米國の國旗を目撃したる旅客は土人が米國陸軍卿の面前に於て、其國の併合せらるゝことを請願したと聞きても、驚かぬであらう、レオナードウッド將軍がミンダナオ島を統御して居つた時、成るべく兵力を以てよりも、同情と親切とを以て、蠻民を歸服せしめんと企て米國の國旗を蠻民の間に散布したら彼等は美麗なる紅白藍色の旗を受けて非常に喜悅し、之を戸上に揭揚してゐたが、其旗に大小あるを見て大旗を得たるものは意氣揚々衆に誇示すると同時に小旗を貰いたる者は甚しく憤怒し其結果騷動を起したので、已むを得ず大なる旗を截つて、小旗と同じき形にし辛ふじて此騷亂を鎭撫したといふ話がある、是れ蓋し土民の間に、平等といふ精神の存在する證據で、彼等は生れながらにして、自由平等といふことを解するのである。

△武力よりも同情　比律賓群島の地圖の上に一線を東より西に畫すれば、其北半が基督教を信ずる島で、其南半が基督教を信ぜざる島である、而して北半の群島に棲息する、土民を總稱して比律賓人と唱へ南半の群島に生活する土民を包括してモロ人といふのであるが、後者の信奉する宗教は回教である三百年前一人の亞拉比亞人が、手にコーラン（回教の聖書）を携へて深着し來り土民に歡迎せられて會長の如き位地を占め、アラビヤの風俗宗教を輸入し其位を子孫に傳へたので、恰かも一種の封建制度を設立したのであるが、土人はダットーと稱する親分に率いられ各部落聯合して北部の基督教を信ずる群島と戰端を啓き、マニラの入口まで進入したことがある、而して勇悍なるモロ人は彼等の間にも些細の原因より互に相爭鬪し、殘虐を逞ふするので、西班牙政府は幾度も遠征隊を派遣して之を服從しようと試みたが、慓悍決死のモロ人の爲めに絶へず、擊退せられ從つて名義は西班牙の領土であつても、實際は獨立して三百餘年の星霜を經過し來たが、米西戰爭の結果、遂に米國の領土となつたのである、而して米國の占領したる當時と雖も、獰猛なるモロ人は頑强に抵抗したが、征討したマウッド將軍の方針は武力を以て壓倒するよりも同情を以て悅服せしめんとするにあつたので、土人が殘虐を縱にするに拘はらず、將軍は孜々として德政を布くことに努力し、將軍の指揮の下にある人々も、土民を感化するために其最善を盡したのである。

つきやく
月經をつうお子宮病を全治す

月經閉止三四ヶ月の滯りを通じ其他月經不順より起る子宮病血の道、頭痛、食物進まず、氣分鬱ぎ、逆上強く等の病を根治し、血のめぐりを能くす。

月經不順
日本一
寶月丸
羅更新錦

二十世紀之新劑

一日八錢半 一週分廿五錢 一週五十錢 二週分壹圓 三週分壹圓四十錢

常に月經異動ある人持續させば瘀血を下し子宮病に罹る憂ひ更になき良劑也

本舖 大阪心齋橋二丁目 丹平商會本店
支舖 東京日本橋舩町 丹平商會支店
賣捌は東京市内其他各店に取次す

代理店
京城本町通三丁目 新井藥房
電話九〇四番 一〇六八
振替口座 京城 十六番

村井弦齋先生命名
糠精(こうせい)
脚氣患者の必ず常用すべき衛生食糠なり糠精の常用は我國一種の風土病を驅逐す百發百中効驗神の如し
京城本町三丁目
龜屋商店
電話二十七番
振貯二十七番

弦齋流割烹
す津祢
南山町一丁目
電話千五百二番

純良消毒牛乳
京城東四軒町
岡野牧場
電話千六十九番

薄口醬油
特約販賣
仁川京城
高雄支店

英國セ・フヒールド市シーボムデンドディキスタル製鋼會社特約品
鑛山用 地球鷲印八角鋼
鐵道具用 同 角磨鋼
職工用 同 鑢各種
右は朝鮮一手販賣罷在候處滿鮮地方材穿鑿具製作用として最も適當の爲め至極好評を博し價格亦内地輸入品より格外廉價に御座候間何卒一度御試用奉希上候
和洋金物商
京城本町五丁目
(藤) 釘本藤次郎本店
(電話四五番)電信略號「ク」
振替貯金口座京城二五六番

水車唐箕製造販賣
京城明治町百七番戸
土井米吉工場
電話千三百二十六番

上等清酒
釀造發賣元
仁川港
吉金酒店
電話七六四番

新荷着
浪平板洋釘各種
多數御入用の御方は特に安價に御相談致可候
和洋金物商
京城本町貳丁目
佐野彥藏商店
電話一六三番
振替口座京城一一二〇番

名穀
光鳳
釀造元
仁川宮町三丁目
深見勝三郎
電話二四八番
電信略號フ

世帶道具は何でも有り升
外に宅ノ酩酒手ヨリ白米和洋ローソク上白シメ油(高)醬油ハ特約品
右品質上等直段下等大勉強販賣仕候間續々御用命奉願上候
日用雜貨卸問屋
京城本町六丁目
西崎嘉七本店
電話二百十番 電略(ニカ)又ニ
振替貯金口座京城七番

朝鮮牛種及牛乳改良元祖

當場飼畜の乳牛は悉くエーアシヤ、ゼルシー、クイーンの最も優逸なる洋牛而已なるが故搾取する良乳は極めて純良無比なり
當場畜舍及搾乳室等其他一切の設備の完全なる他に比類なし
消毒 純良 高等 牛乳
京城南大門外
荒井牧場
(電話一〇五六番)
當場には種畜牛數頭飼養致候間種付御希望の方は御申込被下度候
當場には御進物用牛乳切手發賣致候
其他牧畜に關する一切の業務は叮嚀懇切に取扱可申候間御用命之程希上候
龍山本町三丁目
龍山販賣所
(電話二〇二番)

來れり
寫眞撮影の時季
幻燈器械
寫眞器械
藥品材料一切
旅行用娛樂用營業用
直輸入
京城本町四丁目
織居寫眞機部
電話二六二番
振替貯金二三一番

優等
清酒

京城光化門通
淺田洋服店
店主 大島專藏
(電話四百十二番)

明治六年設立
資本金 一千萬圓
積立金 六百〇五萬圓
株式會社第一銀行京城支店
京城南山町三丁目
電話 二番 六二番
振替貯金口座朝鮮一二番
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候

清酒 正宗 政則
釀造元
上酒 小賣壹升に付三十錢
卸賣は特別割引可仕候
清酒 味淋燒酎 醬油並に日用食料品雜貨類
釀造元 中井酒造場販賣部
京城壽町三丁目
電話百七十七番
電話にて御注文の際は一升以上は店員をして遞送致さすべく候

米國スタンダード製松印石油
下總國野田(亀)印醬油
仁川日本醬油株式會社製(龜)印醬油
下總國万上印味淋壜詰
尾張名古屋(宮)印酢
汗浦根炭及日本木炭
英米煙草會社製品各種
神戶株式會社布引礦泉所製馬蹄印
豐後湯の花精製品(入浴用)
湯の花菓子(茶用)瓶入各種
灘銘酒櫻正宗山邑釀造
堅牢無比の國響足袋
特約店
雜貨部 京城本町六丁目 今藤富國太郎本店
貿易部 京城南大門市場 藤富國出張所
木炭部 京城永樂町二丁目 藤富國出張所
其他和洋酒、米、麥、石炭、みかん、洋臘、瓦煉瓦、明太魚、鹹昆布、罐詰、千香、其他乾物類一式
電話三〇八番 電略(ク)

東京 足袋
正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升
本店 東京
京城大和町一丁目(日の出橋際)
大和屋
藤井出張店
電話二百〇五番

今回諸事改良をなし最も便利に取扱申候
靜養所
仁川
八景園
營業主 早瀨福壽
(電話五五二番)

M.C.C.
土耳古紙卷
エムシーシー
專賣局の定價は百本に付金五圓貳拾錢なるも朝鮮内は大安賣
京城、平壤龜屋……釜山、木浦、群山高瀨支店

株式會社百三十銀行京城支店
電話百九十五番 振替貯金朝鮮一一三番
資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎
爲替取組先
畿内 大阪、神戶、兵庫、京都、西陣、堺、伏見、郡山、奈良、八木、田原本、高田、貝塚、岸和田、下市、茨木、平野、住吉、御影
東海道 東京、横濱、大磯、靜岡、甲府、津、岡崎、濱松、宇田、桑名、名古屋、熱田、四日市、山田、松阪千葉
東山道 彥根、大津、八幡、長濱、多治見、大垣、岐阜、中津、宇都宮、高崎、伊勢崎、前橋若松、福島、酒田、鶴岡、七崎青森、仙台、福山
北陸道 金澤、小濱、敦賀、福井、鯖江、大聖寺、高岡、富山、伏木、新潟
山陰道 宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取、米子、境、松江、久手、大田
山陽道 姬路、龍野、網干、岩見、西大寺、岡山、味野、牛窓、玉島、笠岡、福山、倉敷、高梁、尾の道、三原、廣島、吳、小郡、岩國、柳井、府中、平生、防府、山口、德山、萩、長府
南海道 和歌山、田邊、御坊、新宮、尾鷲、小月、下之關、明石、串本、高松、坂出、豐濱、川之石、今治、西條、松山、三津ヶ濱、州本、八幡濱、宇和島、高知、德島、撫養
西海道 郡中、門司、福岡、博多、直方、飯塚佐伯、大分、別府、臼杵、長洲、長崎、佐世保、唐津、佐賀、若津、牛津、伊萬里、久留米、熊本、鹿兒島、坪井、宮崎
北海道 小樽、函館、
台灣 臺北、臺南、
樺太 大泊
朝鮮 仁川、釜山、平壤、鎭南浦、元山、群山、木浦、羅州、馬山、大邱、全州、大邱羅南、新義州、城津、開城、清州、大田
清國 安東縣
銀行一般の業務精々便利取扱可申候

入院 隨意
内科外科小兒病梅毒淋病
院長 陸軍軍醫正 高井貞治
京城壽町三丁目
高井醫院
電話(二一六)

芙江公州間定期出帆廣告
芙江發毎日後一時四十分公州着後六時
公州發毎日前七時芙江着後四時半
船内御客様の娛樂用として新聞雜誌碁將棋盤等の備付あり
京釜芙江驛前
(釜)中條運送芙江支店

(キ) 四月中 瀛船出帆廣告
海州行
海利丸 十九日、廿一日、廿三日、廿五日、廿七日、廿九日
安來丸 十九日、廿一日、廿三日、廿五日、廿七日、廿九日
滿洲富里浦屯串行
千葉丸 十九日、廿一日、廿三日、廿五日
三省丸 廿一日、廿三日、廿五日
審島行
三省丸 廿九日
千葉丸 廿四日
仁川本町四丁目
合資會社 秋田商會船舶部

[illegible]は十七日午前京城に來り[illegible]技樓を訪問し仁川築港に就ての設計を取せしと云ふ

多情多恨

京城藝妓の半生（二）　花月樓 若一

「自分の口から自分の身の上話しと云ふのもしましても何んですね、コウ少々は取り繕ひたい如な氣が致しますよ」と片手を膝に片手で火鉢の灰を平しながら恥を含んだ眼差でチラと對手の顏を見て「かれ見立てに與つたからには其の御心切に對してでも飾のない不檢束の處を卸並に白狀致しますよ……エ、左樣ですよ皆文拂ひと云ふ格で」又しても其の清爽しい而して艶かしい眼をチラと對手の面に與れて「ホヽヽ」と華やかに打ち笑ふ。「それ耳肥ひ甘い事も御座んしようが其所は一つ御贔負甲斐に何も災難だとれ諦めの上御同情と云ふのを下さつてね」と又チラヽ。

「前口上の長いのは御退屈の原因として愈々本文に取り掛りましよう……となると貴君、流石に動悸がしますよ」と胸覚げて「ホヽ新樓に」と沈と擬視る『私の生國が德島縣と云ふのは戸籍面の事で實は生れは名古屋ですが仔細あつて今の所へ轉籍しましたのです雖然其の仔細なるものは承知しません一寸訂正して置いて扨て十七の春落籍される時の條件と云ふものは何時までも妾では置かぬてと、時機到來即ち、れ前（若二）も又仇し男には夢にだも逢つてはならん、と云ふのでした、此れとて何も其の時新規に出來た條件と云ふのではなく抑もの時からの約束で私は夫れを一生懸命に守つたものです、幾何私の如なものでも當時は年も若し從つて色香も今から見ますればマア優つて居ましたのにれ加けに稼業柄ですもの何んとか彼とか仰云つて下さる方も三人や五人ではありませんでしたが何んと云はれても嫌やく〳〵とジヤジヤ張り通したので「心底見へた」で木が入つて落籍の事が出た譯けなんです……イヽエ唯奧樣に成り度いと云ふ慾からでなく心から旦那可愛の一念からなんでしたよ……初戀ですもの無理はないと覺し召せ……初手は左樣して半分夢中の

何うでも添はれぬものと信じ切つて居ましたが段々年を老ふに從つて「トは云ふものゝ假令何んでも泥水稼業とした私、万一すると飛んだ所から故障が入つて悲しい離別をせにやならぬ事になるかも知れない」と思ひ附いて一夜のこと染々泣いた其の時に若旦那の仰云るには「假令誰れが何んと云はうとも必ずともに女房にする、何うでも添へぬ其の時はれ前斗りは死なしはせぬ俺も一緒に情死する」と堅い〳〵誓言にヤツと安心して果敢ない末來を樂しみに明し暮した二十二の春不圖耳にしたのが若旦那が近い內に奧さんをれ迎へなさるとの人の噂、アレ程堅い約束がある兩人の変情、豈と思ふ直ぐ其の下から萬一するとの疑ひが頭を擡げる、若し左樣なつたら夫と其時迄の命だと決心した三月十日の午後三時頃ものも云はず飛び込んだのが若旦那の傳八さん、（つゞく）

悲劇「死人に花嫁」

▽來て見れば吁我夫は

去月三十日朝本町一丁目灘山洋服店支店にて主人濱一(三三)が病氣療養の爲め歸鄕不在中親戚にて店務を手傳ひ居たる楢林居(十九)が店員井村直次郎(三七)を絞殺し其の身も又新町裏松林中に於て縊死を遂げたる旨は既報の如くなるが

加害者 楢林は豫て精神に異狀ありし土地が變れば氣も代はらんと親戚の間柄なる長崎市江戸町灘山洋服店の支店たる當地に預けられたるものなるが

實父 同人の實父政次郎は三月中同地馬込聖德寺の世話人として團体參詣に加はり京都智恩院の遠忌に詣でたる

歸途 播州明石にて**客死**を遂げしも小心者の居に通知しなば何を仕出來すやも知れずとて一切秘密に附し居たるにて一家の涙は未だ乾かさるに更らに居が慘劇を演じたりとの報を受取りたる遺族の悲嘆は眼も當てられざりしとは左もありなんが一方被害者たる

直次郎 の方にも一場の

悲劇 あり鞋に直次郎の兩親は倅も最早年頃に成りたれば早く身を固めさせんと岡所外遊町邊より**美人**を貰ひ受け實父付添ひて去月廿九日出發したるも風波の爲め連絡船が出港せず止むなく國府門司に一泊し翌卅日午後出帆

船中に一夜を明かしてる 矢が當夜我が子、我が夫が恨を殘して亡[illegible]

▲神戸米 電信取引

明治町西村支店着電

▲大阪株式（五月限）

	（昨日後場）	（當日前場）
	三三、五〇	三三、〇〇
	三四、〇〇	三二、九〇

▲大阪	同	六四、六〇	六四、五〇
▲紡績	同	六四、五〇	六四、五〇
▲大阪電燈	同	一〇六、七〇	一〇六、〇〇
▲東京電燈	同	一一五、〇〇	一〇七、五〇
▲株式	同	一二三、〇〇	一〇六、九〇
▲取引所	同	二二八、五〇	二二七、〇〇

▲大阪期米 ●十六日前場 四月止八十二錢▲五月止九十八錢▲六月止十六圓八寸錢▲後場▲五……▲十七圓五錢

▲仁川米豆取引 ●十七日後場 四五月出來不申▲六月寄……五月寄八十二錢▲六月寄九十六錢 ●十七日前場 四五月出來不申▲六月寄十一圓九十錢▲最高九十二錢▲最低九十錢

……せたりとは神ならぬ身の知る由もなく嬉しき夢路を辿りて翌日京城に入りたるが氣の毒なは花嫁にて飲もして道もして見ぬ鄕に憧れて取越苦勞をしたる甲斐もなう

無殘なる花婿の死顔を見ては處女心の押へ難く氣も狂はん計りに泣き沈みしとは左もあるべし

●靈泉場の新設

葛月里 當地南大門外蓮町二丁目(陸軍練兵場前)は舊地名を葛月里と稱し低地なりしを一昨年來各地主聯合して埋立て現在の市街地となしたるものなるが此の埋立地內に嚴冬と雖も[illegible]と云ふ不思議な當石垣或は木棚等の微温湯の湧き出づる中の二三者は或はやとて之れを汲み[illegible]を依頼したるは昨[illegible]結果實に彼の東萊の靈泉なること判[illegible]近地主組合にては約五千坪を劃し標[illegible]シヤ、モミ等を無[illegible]路を拓き夜間は五[illegible]大遊園とし此の內に御殿作りの靈泉場[illegible]

娘振り（二）

廣瀬魁一君三女　廣瀬はな子

廣瀬魁一君とは旭町二丁目の下宿屋の主人の名である、其の三女のはな子さんである、とはさず下宿屋の娘さん[illegible]甚だ長い拙い[illegible]達れは福岡縣小倉市[illegible]はな子さんの理想の人は[illegible]のれ守り春日の局[illegible]全なる志操は健康[illegible]と云ふ、夫れが[illegible]子さんは正に判[illegible]を抱持する資格は[illegible]な至極圭角の取[illegible]稼業の感化でも[illegible]手な誰れにでも[illegible]より結構である[illegible]いとは申し上げ[illegible]云ひ知れぬ愛嬌[illegible]當地高等女學校[illegible]中の得意の學科[illegible]花、裁縫である[illegible]れ嗜きで健純と[illegible]ても頭痛がする[illegible]芳紀正に十八

●姜基東の銃殺

元山警察署の手にて逮捕せられし賊魁姜基東は其後警務總監部にて嚴重訊問中の事は既報の如くなるが愈々十七日午前八時三十五分龍山衛戍監獄裏にて銃殺に處せられたり

●さく家の移轉

客年娼窟より分離して獨立の旗幟を翻せし俠妓文之助の經營にかゝる藝妓置屋さく家は此れ迄御承知の通り本町三丁目南入る南山町一丁目に家形を構へ込んで居たるが段々と繁昌し稼ぎ手も殖れたので手狹と云ふ所から今度同じ南山町一丁目[illegible]旭町三丁目の元藝妓屋花家の跡へ[illegible]移つて多々益々辨せ[illegible]

ダイヤラクテイセる菊家文之助の小照

ゆられゆく船に大江の波して風にまかせる身こそ安けれ

[illegible]んとの意氣組み凄まじく爪ならぬ腕を[illegible]を鳴らして居るさへ[illegible]如何なる天魔の魅入[illegible]之助は近來禪に志して[illegible]撃に眼を掛へ什麼か[illegible]花は紅、くれなゐ花な[illegible]花瓣の薔薇の花片拈[illegible]菊枝を迦葉に見立て[illegible]い微笑をして居るが[illegible]氣味惡がり陰へ回つて[illegible]さんのはアリヤハイコゼいゝ[illegible]又眼が惡くなりやせ[illegible]と、然るに當人一向[illegible]作の短歌めいたもの[illegible]つて居るのだから恐[illegible]

●惡事務員の公判

京都市下京區[illegible]四百六番地生れ中川重[illegible]は昨年十月より當地辯護士永井[illegible]に雇はれ訴訟事件に從事[illegible]取立を依頼され督促[illegible]普通金錢貸借にあらず[illegible]爲めに成立したる證書[illegible]

●船員の金魚泥棒

原籍大分縣下尾郡中津村大字角木新町百十九番地士族當時大阪西區安治川富島町尾崎汽船會社神代丸乘組三等水夫金枝榮(二三)は同船事務長石橋萬藏が大阪より仁川まで托送せられたる金魚三百七十尾此價格金十八圓四十錢を航海中に於て竊取し十五日午後八時頃仁川新町二丁目賣物商古津鮮太郎方へ金魚二百八十尾を金五圓六十錢にて賣却したるを[illegible]石川の兩巡査が探知し十七日檢事局へ送られたり

●可愛い人は竊盜

大分縣人當時住所不定石井熊一(二四)は一定の住所なく[illegible]博徒の群に入り[illegible]の注意人物なりし處本月四日南大門通り大路ゆき方にて衣類數點を竊取せられたる旨の届出に嫌疑者と認むる者の石井に類似するより贓品發見に着手したるに該贓品か明治町二丁目料理店三桝屋に預けある事を長野岸兩刑事探知し取調べたるに抱酌婦福岡縣人楢本うめ(二二)の情夫石井熊一が預けたる事判明直ちに同人を捕へ本署に引致司法主任に引渡したりと

●仁川の告發二件

仁川濱町三丁目居留七五郎妻山根キク(二八)は十六日午後二時三十分仁川警察署の訓示ある月尾島の廊園を折り自宅に持歸らんとせしを▲仁川鐵路標識管理所所屬帆船瀛華丸乘組水夫橋本德太郎(三四)は十五日午時九時頃月尾島の人家接近の場所にて狩獵の目的を以て發砲したるを共に水上係の石川巡査に認められ告發せられたり

●下駄で人を擲る

仁川京町一丁目鈴木菓子店雇人永井寅秋(三二)岡山[illegible]本旅太郎(三二)の兩人は十七日午後〇時四十分頃飲酒酩酊し京町二丁目通りを[illegible]行の際先方より來し二人の鮮人に[illegible]自分の下駄を脫ぎ取り鮮人二名の顏面を[illegible]打ちに毆打し負傷を負はせしより告訴せられ目下取調中なりと

●一枝を折ば拘尻

明日漢城衛生會より鐘路通りに植付けたる柳を屢々折り取る者あるより北部署は犯人檢舉に從事したるに京城西部仁王洞二統六戸官立高等學校卒業生金敦彰(二二)外三名なる事判明せしに付笞刑に處したり

●音樂大演奏會

朝鮮雜誌社主催の在京音樂大演奏會は十五日夜黃金館に於て開催され三曲合奏ヴアイオリン獨彈琵琶等ありて非常の盛會にして閉會せしは午後十一時半過なり

●觀音講說教

淺草町一丁目曹洞宗兩大本山別院にては十八日午後七時より講中興向新聯合に田中淳師の說教等ある由

●藥師寺(觀山祝町)

十八日午後一時より觀音講說教ありと

●演藝だより

●歌舞伎座 同座は今明年中無休にて特に木戸入錢下廊十錢中廊廿錢上廊廿五錢特別廊四十錢と云ふ破格の御觀料と！常務的に開演する由にて[illegible]鶴二郎寶川正三郎合併一座十八日の替狂言は前「寶鏡先代萩」切「御所櫻彌撫上使」

●壽座 同座も興行として立志團一座十八日の藝題は犬花姫登入場を演じ御夜興行は

●東京寫實堂活動寫眞開演の由

●浪花館 浪花節吉川今勝京山若圓合併一行にて特に木戸場代共二十錢均一 尚十八日の語り物は征韓論五月雨日記島田一郎(吉川孤舟)空家死美人殺害事件(同鐵舟)和歌の浦譽の太刀風(同風舟)落語(笑福亭市圓)豪勝軍人兵營の夢、娘敵討箱根のピストル(吉川今勝)伊達黑白論對決迄讀き讀、萬國不二義士の譽討入迄(京山若圓)